



パリ発。
響くユダヤの伝統音楽と
ベルリオーズの幻想交響曲

Yutaka Sado
Conductor &
Artistic Director

PAC定演111

佐渡裕
オーケストラのエスプリ!



イディッシュ・ラプソディー
Yiddish Rhapsody

ベルリオーズ：幻想交響曲 op.14
Hector Berlioz: Symphonie fantastique, op.14

指揮・芸術監督：佐渡裕

ゲスト：シルバ・オクテット&イザベル・ジョルジュ(歌)

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

Isabelle Georges
© ALIX LAVEAU



© Bernard Martinez



Sirba Octet

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第111回定期演奏会

2019 1/18(金)・19(土)・20(日) 3:00pm開演 (2:15pm開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 D席1,000円(全席指定税込) ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00am-5:00pm 月曜休み※祝日の場合翌日]

一般発売	チケット予約	●芸術文化センター 0798-68-0255 http://www.gcenter-hyogo.jp ●イープラス http://eplus.jp (パソコン&携帯) ●チケットぴあ 0570-02-9999(PCODE 124-825) http://pia.jp/t/ ●ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)、0570-084-005(コード 52652) http://l-tike.com	芸術文化センター 会員先行予約受付開始 10/12	直接購入	芸術文化センター2階総合カウンター [10/16(火)より、残席がある場合のみ] ローソン、サンクス、ファミリーマート セブンイレブン、サークルK、ミニストップ
------	--------	--	------------------------------	------	---

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫芸術文化センター管弦楽団 第111回定期演奏会

2019年最初の定期演奏会には、イディッシュ音楽の演奏集団、シルバ・オクテットが登場。フランスの名門、パリ管弦楽団のメンバーを中心に結成された彼らは、ユダヤの伝統音楽をベースに、さまざまな要素が融合した刺激的な音楽を奏でます。今回は、佐渡芸術監督が「人の心をつかむ、天才的歌手」と賞賛するイザベル・ジョルジュも出演。哀愁あふれるイディッシュの歌から、ジャズやロックの名曲アレンジまで、オクテットとオーケストラが未体験の音楽を届けます。

そして後半は、フランス・ロマン派の作曲家ベルリオーズの「幻想交響曲」。作曲家が自らの失恋体験に基づいて書き上げたこの大作は、パリ管の十八番レパートリー。これまで幾度もパリ管に客演している佐渡芸術監督は2002年に彼らとライブ録音も残している演目です。今回は同オーケストラのメンバーを迎え入れての、待望の公演となります。作品を知り尽くした名手たちとの共演で、若きPACはどんな飛躍を見せるのでしょうか。

佐渡芸術監督が長らく希望し続け、今ようやく実現する盛りだくさんのコンサート。どうぞお聴き逃しなく。



芸術監督・指揮：佐渡 裕

Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。故バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでにパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン放送交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月よりオーストリアを代表する110年以上の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団の音楽監督に就任し、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリース多数あり、最新版は「ショスタコーヴィチ：交響曲第5番」を2018年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP新書)など。オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



シルバ・オクテット&イザベル・ジョルジュ Sirba Octet & Isabelle Georges

ヴァイオリニストのリシャール・シュムクレールが2003年に結成したユニークな八重奏団。6人のパリ管弦楽団の奏者たち、ピアニスト、ツィンバロン奏者で構成。クレズマー、ユダヤ音楽、ジプシー音楽のレパートリーに新風を吹き込むサウンドを生み出している。2005年、最初のアルバム『A Yiddish Mame』をリリース。ユダヤの伝統音楽をベースに、ジャズ、サルサ、ミュージカル、ロック、サンバの要素が組み込まれている『イディッシュ・ラブソディ』では、歌手&ダンサー&女優として活躍するイザベル・ジョルジュが加わっている。フェイスル・カルイ指揮バレン地方ポー管弦楽団の委嘱作品であるこの曲は、八重奏団と50人のオーケストラのために書かれたユニークな作品で、それゆえオーケストラのレパートリーとして、また室内楽のレパートリーとしても演奏可能な構成となっている。これまでにラムルー管弦楽団、トーンクンストラ管弦楽団(指揮：佐渡裕)等との共演を行っている。



兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。
[http:// hpac-orc.jp](http://hpac-orc.jp)



先行予約会員募集中!
詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

- ◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
 - ◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

